

第9回教育研究審議会

議事概要

日時 令和元年7月31日(水) 午後4時00分～午後5時20分

場所 本部棟3階 大会議室

出席者 福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、深澤祥邦事務局長、小林重雄理事、竹島達也大学院研究科委員長、西尾理学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、平野耕一学長補佐、樋口雄人学長補佐、加藤敦子国文学科長、Hywel Evans 英文学科長、山本芳美比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、野中潤図書館長(兼)情報センター長、廣田健教職支援センター長、茂木秀昭国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、市原学入学センター長、矢嶋亘総務課長、石川和広経営企画課長、藤江隆学生課長

欠席者 竹下勝雄地域交流研究センター長

福田学長より挨拶

2 議 事

- (1) 専任教員の昇任について(社会学科)1件(投票)

◇(准教授→教授)

○投票の結果、信任多数により承認。

(投票結果) ○20 ×0 白1 計 21名。

- (2) マレーシアサンライズ大学との協定について

○担当から資料2に基づき説明。最終決定ではないが、数年間は英文学科で実施して、軌道に乗ったら全学的に拡充するものとする。

→イスラム教徒である学生のため、食事についてはハラルの用意が必要であり、祈のための部屋も大学として準備が必要であると考え。

→祈の部屋は準備をするものとし、ハラルフードについては受け入れ人数などによるが検討するものとする。なお、最終的な正式文書については国際交流センターに作成を一任する。

→日本の他大学で交換留学を行っているのか？また、英語力のレベルについてはどの程度が必要であるか？

→追手前学院が同じ契約機構を使っている話を拝聴したことがあるため確認をして事件など問題が起きていないか確認を試みる。

→英語力レベルについてTOEFL 515程度が望ましい。

→大学自体は高いレベルであり、点数の要求がない場合でも本学として基準を設定した方が良いと考える。

→できる限り制限を設けず、可能性があれば送り出したいため、個々の語学力だけではない能力も含め決定するものとする。

→偏見ではないが、高学歴のイスラム過激派などの問題も踏まえて受け入れ態勢の構築が必要であると考え。

- (3) 本学の留学制度の再編成指針(案)について

○担当から資料3に基づき説明。→提案通り承認。

→学校教育学科は学科の特色としてサイモン・フレーザー大学での海外事情研修となっているので承知していただきたい。

→過去の実績を踏まえ学科予算として運営費用の予算要求するものとする。

(4) 令和2年度開講科目について

○担当から資料4に基づき説明。→提案通り承認。

前回の教育研究審議会で議題となったキャリア形成新設科目開講。

(5) 令和元年度非常勤講師授業担当科目について（取消し）（第14回）

○担当から資料5に基づき説明。→提案通り承認。

学校教育学科の住居学演習について受講者0名のため取消し。

(6) 非常勤講師（社会学科）についての方針を受けての学長提案

○担当から資料6に基づき説明。→提案通り承認。

・非常勤講師を、基礎演習（現代政治論・進藤ゼミ）について担当教授とのオムニバスの変形型授業補強担当者として追認する。（単位認定者は担当教授）

(7) その他 ○なし

3 報 告

(1) 大学基準協会の認証評価への対応について[自己評価・評価実行委員会]

○担当から資料7に基づき説明。

(2) その他 ○なし

4 その他 ○なし

5 閉 会

以 上